

第4回 修士論文発表会

趣旨：①M-GTA（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）を活用して修士論文を書き上げた学位取得者の**成果発表**—領域的知見と方法論的な苦労や工夫について発表してもらい、後学の参考とする。②**現在M-GTAを活用して修士論文にとりかかっている修士課程生の構想発表**—スーパーバイザーやフロアとのやり取りを通じ、研究の洗練を促す。本発表会は、参加者を研究会の会員に限定せず、ある程度の公開性をもたせる。

日時：2011年7月16日（土） 10：00～18：05

会場：東京大学本郷キャンパス法文2号館階1番大教室

スーパーバイザー：小倉啓子（ヤマザキ学園大学）、木下康仁（立教大学）、佐川佳南枝（熊本保健科学大学）、塚原節子（自治医科大学）、都丸けい子（平成国際大学）、長崎和則（川崎医療福祉大学）、納富史恵（久留米大学）、林葉子（お茶の水女子大学）、三輪久美子（日本女子大学）、山崎浩司（東京大学・司会）

プログラム：

10：00～10：10 開会の挨拶・趣旨説明

10：10～11：25 成果発表① [SV 林・三輪]

菊地真実（早稲田大学大学院人間科学研究科・M修了）

「在宅緩和ケアに関わる薬局薬剤師の現状と抱える問題点に関する研究」

11：35～12：50 構想発表1 [SV 小倉・長崎]

田内ますみ（神奈川大学大学院人間科学研究科・M2）

「新卒新入社員が職場に適応していく過程—先輩社員との関わりに着目して」

13：50～15：05 成果発表② [SV 木下・塚原]

前田和子（筑波大学大学院人間総合科学研究科・M修了）

「他科から勤務異動した看護師が精神科看護に熟達する経験プロセス」

15：15～16：30 構想発表2 [SV 都丸・山崎]

大矢英世（東京学芸大学大学院教育学研究科・M2）

「男子校における必修教科「家庭科」の定着へのプロセス」

16：40～17：55 構想発表3 [SV 佐川・納富]

富澤涼子（首都大学東京 大学院人間健康科学研究科・M2）

「司法精神医療の対象者が現実的な希望を再構築していくプロセス」

17：55～18：05 閉会の挨拶

申込：<https://ssl.formman.com/form/pc/CCadztH9ocickbea/> から、**7月12日（火）まで**にお申し込みください。定員（220名）になりしだい締め切ります。

問合せ：modifiedgta@gmail.com 担当：山崎浩司